

- 放送日 1月28日(火)、2月4日(火)
- テーマ 「長野県シニア大学諏訪学部 令和2年度学生募集」について
- 出演者 長野県シニア大学諏訪学部2年生 雨宮 正一さん、宮坂 明美さん  
長野県長寿社会開発センター諏訪支部 社会活動推進員 小口 修平

○ 聞き手とのやりとり(概要)

Q1 今回は長野県シニア大学諏訪学部をご紹介します。シニア大学の概要について担当の小口さんから説明してください。

A1 **小口** 概ね50歳以上の方が対象で、年間15日、60時間の講座を2年間受講していただきます。受講料は年間1万2000円です。基本的にはどの講座も1回だけの独立講座で、いろいろな分野にわたります。

Q2 今日はお2人の諏訪学部の学生さんに来ていただきました。雨宮さんと宮坂さんです。お2人はどのような動機でシニア大に入学されましたか。

A2 **雨宮** 公務員を定年退職し、今までの自分になかった知識を身につけたい、学びたいという気持ちが一番の動機でした。それに友達も結構いたのですが、まったく新しいジャンルで付き合える友達も欲しいなと思い、入学しました。

**宮坂** 私は、友達のお兄さんが木曽で暮らしておられて、その方から木曽学部のお話を聞いて、「面白いよ」って言われたものですから、友達と2人でそろって入学しました。

Q3 シニア大ではどのような授業を受けておられるのですか。

A3 **雨宮** たとえば、手長神社の宮坂宮司による「諏訪信仰について」などの歴史ものから、諏訪中央病院の高木副院長の「認知症について」、あるいは障がい者支援センターオアシスの茅野先生からは「発達障害について」など、普段の生活で知っておきたい健康づくりや社会的問題について幅広い分野から、それぞれ概論的な授業を受けています。そのほか、音楽や書道、俳句といった趣味の世界を広げる継続講座もあります。

**宮坂** シニア大が一番力を入れているのは、社会活動講座というのがあって、「地域社

会がかかえる課題をみつけ、その解決に向けて何ができるか」を考える講座があります。私たちはテーマに「里親制度」を取り上げ、実際に里親活動をされているご家庭を訪問し、そこで暮らしておられる里子さんとも触れ合い、お手伝いをしながら実状取材しました。シニア大に入らなくてはできない貴重な体験をすることができ、里親さんから里子さんからも私たちの訪問を喜んでもらい、卒業後もこのご家族とずっとお付き合いができそうです。

**雨宮** 私たちは「おやき」をテーマにしました。自分たちで楽しもうと始めた活動が、子ども食堂支援へと発展していき少しは社会貢献できました。

Q 4 お2人はこの2月で2年間の規定時間を終了されて、無事ご卒業とのことですが、宮坂さん、シニア大で得たものを一言で言うとどんなことになるのでしょうか。

A 4 **宮坂** やっぱり今までなんのつながりもなかった人たちと知り合えたこと。そしてその人たちと、しっかり友情の絆が結べたことかと思います。社会活動講座をまとめていく過程とか、学園祭の準備などで、それぞれ役割を決めて責任を全うしていくなかで、誰がどのような性格で、どう会話していけばゴールにたどり着けるか、いい経験をしたと思っています。

Q 5 シニア大に入学するためにはどうしたらよいのでしょうか。

A 5 **雨宮** この2月3日から令和2年度の学生募集が始まります。募集定員は70名です。入試はありません。合同庁舎の2階、諏訪保健福祉事務所福祉課が窓口ですが、各市町村の高齢者福祉担当課にも願書があります。合同庁舎の福祉課の電話番号は57-2910です。きっと有意義な時間を過ごすことができます。シニア大への入学をお奨めします。